

●地域環境科学部造園科学科（高一種免（農業））

①教員養成に対する理念

本学の教育理念である"実学主義"の精神を授業に取り入れ、理科教育と農業教育に連動する授業を実習や演習を通して体験し、技術と学術の領域を含んだ授業によって生徒指導ができる農業教員ならびに理科教員を養成できるよう努めている。

特に造園科学科の教育研究の目的は、日本庭園などにみられる私達の生活や文化を踏まえ、人間と自然の調共生社会の実現をめざしている。具体的な空間対象としては都市から田園あるいは自然地域にわたる国土の環境が対象となり、その地域における景観を保全・活用して創造するため、専門家としての調査・計画・設計・施工・管理・運営及び材料に関する理論と応用を教育の中で養成し、豊かな感性やデザイン能力、そして確実な倫理観を持つ造園家や造園技術者の養成に努めている特徴があり、具体的なカリキュラムには農業教育、理科教育の内容を取り入れた特徴を持っている。

②教職課程の設置趣旨

造園科学科における教育目標は人材養成を踏まえた、① 自然環境の保全と育成に科学的かつ実践的に対応できる能力、②新たな環境の創成を計画的、デザインの的に遂行できる能力、③技術と実践力をもって自然環境の利活用を生態技術的、環境芸術的に対応できる能力、このような能力を持つ人材を養成することである。この目標を達成するために具体的な専門科目の設置や構成が重要となり本学科としては次のような5つの構成によってカリキュラム全体を構築し教育を実施している。

(1)地域環境を構成する植物、土、水の基本要素にかかわる基礎教育、地域環境問題 に関する見方や地域環境科学の学習への動機づけをねらいとする基礎科目。

(2)造園学における計画や設計に関わる基本理論と専門理論、造園空間創成のための 手法論を修得する環境計画・設計分野の専門科目。

(3)生物や生態に関わる基礎知識、造園植物や造園植栽、緑地生態などに係わる基礎理論と専門理論、造園空間創成のための技術論などを修得するランドスケープ資源・植物分野の専門科目。

(4)造園建設・施工に関わる基礎理論と専門理論、造園空間創成のための技術論などを修得する景観建設・技術分野の専門科目。

(5)造園学を構成する3つの専門分野を統合し、造園学を横断的に理解し、実践的・実務的な応用力を修得する総合化科目。

さらに、この5つの構成を基本に農業教育と理科教育を実施している科目名を対応させると次のような構成(対応)となる。

◎学部共通科目における農業教育関連科目として地域環境科学概論、環境学習と体験活動、理科(生物)教育関連科目として地球環境と炭素循環の科目群となる。

◎学科基礎教育科目における理科(生物)教育科目として生物学、化学、物理学、地学となる。

◎専門科目における農業教育科目として、造園科学概論、環境デザイン基礎演習、測量実習、ランドスケープ作品論が対応する。

◎学科専門科目として位置付けられている科目群の中で、農業教育関連科目として、造園計画学、都市緑地計画学、風景地計画学、日本庭園論、植栽基盤論、造園工学、造園施工材料、造園施工論、測量学が、理科(地学)教育科目として自然保護論、造園樹木学、造園植栽学などが、また、理科(生物)教育科目としては植物の生活と活用、緑地生態学、樹木の保護と管理、緑地の生き物、専門特化演習(一)(植物学)などがあげられる。

以上の通り、学科全体のカリキュラム構成の特徴と教職(農業・理科)課程科目との対応を構成する特徴を持っている。